

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) Y.H

所属 (School) 現代システム科学域 環境システム学類  
学年 (Grade) 3年

留学先 (Name of overseas institution)  
Universidad de Alicante

留学期間 (study abroad period)  
2019/9/29~2020/3/27

## 留学レポート Study Abroad Report

私は大学3年の後期からスペイン、アリカンテにあるアリカンテ大学へ留学をしておりました。当初は1年間の予定だったのですが、2020年2月頃より世界で大流行し始めたコロナウイルスの影響により、留学期間を約半年で終え、2020年の3月末に帰国をしました。

留学に行ったきっかけとしては、大きく2つあります。1つは、海外で生活する中で文化や価値観の異なる方々との交流の中で自分を試したいという気持ち。2つ目は、英語以外の言語を身に付けたいと考えたからです。高校生の時から大学に入ったら一度は海外へ留学してみたいという漠然とした気持ちを持っており、それが形になりました。

大阪府立大学の学生からすれば、初修外国語の選択肢にないスペイン語という選択は「え、なんで?」「そんな留学先あるの?」と思うかも知れません。実際に私自身も高校生の時に思い描いていた留学とは大きく異なっていました。まさか自分がヨーロッパの国に留学するとは夢にも思っていませんでしたし、まさかスペインだなんて想像もつきませんでした。

ではここで、私がどの様にスペインへ留学したのかという事をお話させていただきます。私は、大学の留学制度である、認定留学という制度を使いました。交換留学とは少し異なるのですが、休学せずに留学に行ける、授業料とほぼ同額の支援金を大学が援助してくれるという面では、仕組み自体はほとんど交換留学と同じだと思って頂いて大丈夫だと思います。違いは、中身です。交換留学であれば、大学が指定している国、地域そして大阪府立大学と提携している大学でないといけません。その分、大学からのサポートがある等のメリットがありますが、選択肢がかなり限られて来るといふデメリットもあります。次に私の利用させて頂いた認定留学ですが、こちらは留学先の国、言語、大学すべて自分自身で決定します。留学先の選定や、受け入れ大学を自ら探して留学するというのはなかなか骨が折れる作業ですが、自ら留学をコーディネートし、道を切り開いていけるという点では大きな魅力であり、自己成長につながると思います。

私の場合は、国で迷う事はなく、即決でスペインに留学すると決断しました。大変だったのはここからです。スペインと言っても大学は様々でどの都市に留学するのか、どのような特徴の大学に留学するのかといった点で迷いました。大学を選定する際の軸は次の2点でした。1点目は日本人が比較的少ない街に留学する。2点目は、地中海に面した都市に留学する。この2点で大学・都市を選定した結果留学先のアリカンテに巡り合いました。これを読んで頂いている皆さんの中で認定留学を利用しようと思っっている方は是非、大学選定、都市選定の軸を決めた上で探すことをお勧めします。(調べれば調べるほどどこも魅力的に見えてきて抜け出せなくなります)

留学に行くまでの過程はここまでにして、現地での生活についてお話しします。私の1年間の留学はもともとはじめの3ヶ月がホームステイその後を大学寮または現地学生とシェアハウスをしようと考えていました。学校は、大学内にある留学生対象のスペイン語コースに入っていたので帰国までにスペイン語ネイティブレベルのC1を取得しようと考えていました。実際は、コロナで約6ヶ月ほどの留学生活で帰国することになった為C1レベルの取得とはなりませんでしたが、ほとんど予定通りに生活は進みました。

さて、ホームステイについてなのですが、みなさんの中でもホームステイを利用して現地のファミリーと交流を深めたい。生活に溶け込んで家族の一員のように仲良くなりたい。そう思っている人もいるかもしれませんが、実際、素敵なファミリーと出会って一生の付き合いになるような関係が出来るかもしれませんが、ホームステイ先には余り大きな期待を抱かない方がいいです。私の場合、酷いホームステイ先だったとは言いませんが、ビジネスと割り切っているようなホストさんでした。ですが、毎日顔を合わせるし、食事のことや、生活の事などで必ず話す機会があります。スペイン語が全く話せない状態からのスタートだった私にとって言語習得という観点では最高のホームステイでした。仮にホストファミリーが思い描いていたものとは違っていても、本来の目的を忘れず積極的にコミュニケーションを取ることが言語習得への一番の近道だと思います。

3ヶ月のホームステイの後私はスペイン人2人と3人での共同生活を始めました。正直、留学らしくなったのはここからだと思います。自分自身で身の回りのことを全て行い、自由に過ごせるようになった事で交友関係なども広がりました。学校の寮やホームステイはある意味守られていて安全安心かも知れませんが、ですが何か自分の殻を破りたい、成長したいと考えているのであれば現地の人と共に生活するなど新たな環境に飛び込んでみて下さい。私自身、この共同生活の中で自分自身の成長を大きく実感できました。見ず知らずの人と生活するだけでも大変な事なのに、それが話も100%通じない外国人で、文化も習慣も異なる異国の地でとなれば簡単な事ではありません。ですが、普段では絶対に経験しないことを経験することで、それまで見えていなかった自分を発見できたり、新たに乗り越えなくてはならない壁にぶち当たり試行錯誤しながら一つ一つ乗り越えて行く中で帰る頃には見違えるほど成長出来ると思います。

私の場合、生活を共にする上での文化や生活習慣の違いで悩む事がありました。日本にいれば黙って見過ごすような事でも、海外では黙っていても誰も声は掛けてくれません。積極的に自分から働きかけ、環境を変えて行くことの大切さを学びました。是非、多くのコミュニティに参加し、多くの方と交わる中で自分自身と向き合い最高の留学生活にして欲しいと思います。

最後に、ここまで読んでくれてありがとうございます。もう、留学に行くんだと決断した上で読んでくれた方、留学には興味があるけど一歩踏み出せない、そう思って読んでくれている方もいると思います。長期留学となると人生を左右するかも知れない大きな決断です。思う存分考えて悩んで下さい。ですが、ひとつ私からアドバイスするならば、行きたいけどお金や、単位、就職などが理由で悩んでいるならば絶対に飛びこむべきだと思います。僕自身、3回生の後期からの留学だったので同級生より一年遅れで就職する事になります。これまで、親に敷かれたレールを両側から支えてもらいながら走って来ました。一歩自ら新しいレールの上を走り出すのは勇気のいる事です。ですが、その先に待っているものは一歩を踏み出した人しか手に入れられません。若干21歳の私が言うのも変な話ですが、失敗してもいくらでもやり直せると思います。まだまだ学生の中に、やってみたい、興味があると思ったら是非留学にチャレンジしてみたいと思います。